

# 歯科医師数基本データ

歯科医師数の基本的なデータについてまとめてみます。

もとのデータは厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」各年から、及び、「医療施設（動態）調査の概況」からです。

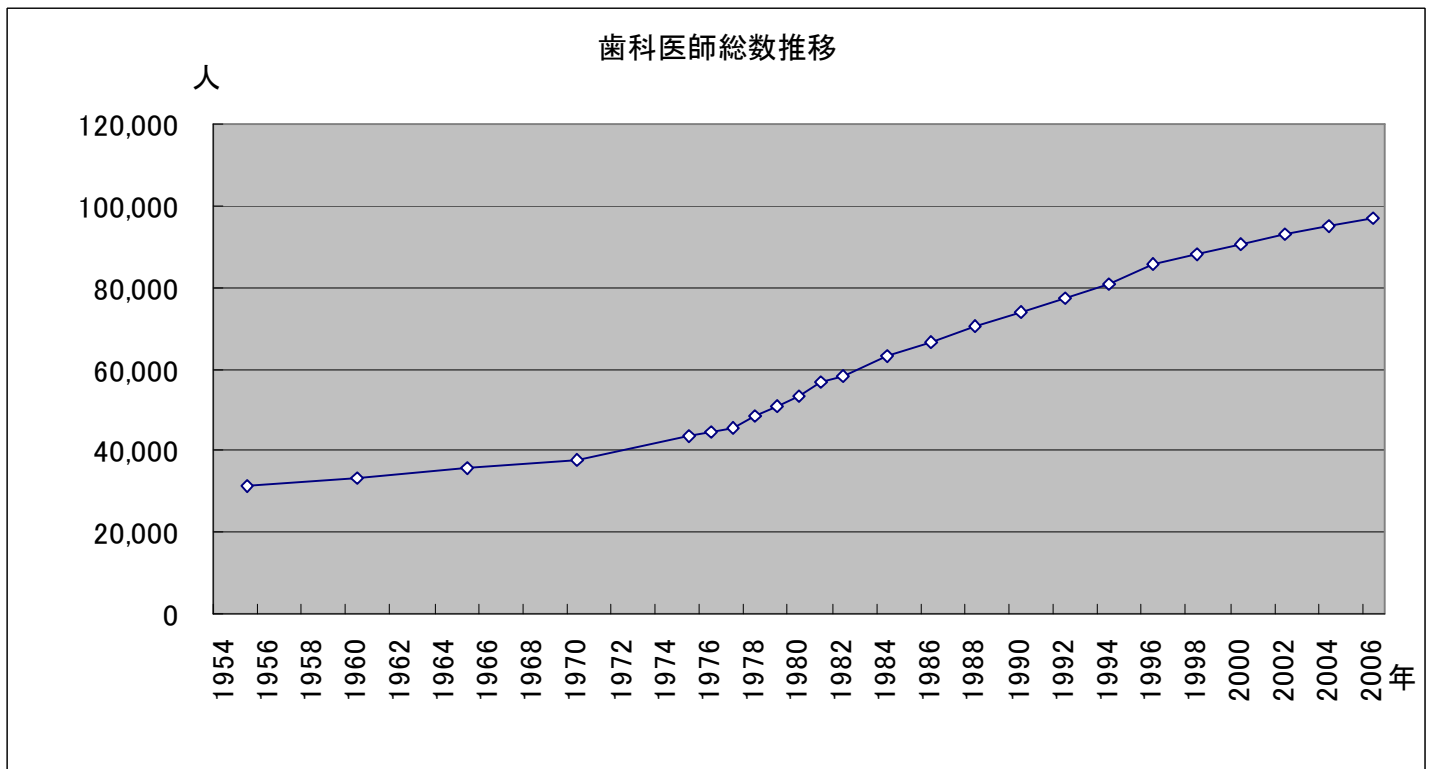
## 【歯科医師総数】

歯科医師数の年次推移(医師・歯科医師・薬剤師調査の概況 より)

各年12月31日現在

		総数		医療施設の従事者		病院の従事者	診療所の従事者	開設者	勤務者
			増減		増減				
1955	昭和30年	31,109		29,422		2,060	27,362	23,415	3,947
1960	35	33,177	2,068	31,797	2,375	1,977	29,820	25,398	4,422
1965	40	35,558	2,381	34,127	2,330	2,016	32,111	26,916	5,195
1970	45	37,859	2,301	36,468	2,341	2,575	33,893	28,270	5,623
1975	50	43,586	5,727	41,951	5,483	3,897	38,054	30,644	7,410
1976	51	44,382	796	42,704	753	4,243	38,461	30,809	7,652
1977	52	45,715	1,333	43,906	1,202	4,530	39,376	31,326	8,050
1978	53	48,731	3,016	46,902	2,996	4,776	42,126	33,102	9,024
1979	54	50,821	2,090	48,899	1,997	5,343	43,556	33,590	9,966
1980	55	53,602	2,781	51,597	2,698	5,871	45,726	35,038	10,688
1981	56	56,841	3,239	54,954	3,357	6,196	48,758	37,372	11,386
1982	57	58,362	1,521	56,327	1,373	6,532	49,795	37,827	11,968
1984	59	63,145	4,783	61,283	4,956	7,628	53,655	40,563	13,092
1986	61	66,797	3,652	64,904	3,621	8,001	56,903	42,997	13,906
1988	63	70,572	3,775	68,692	3,788	8,547	60,145	45,367	14,778
1990	平成2年	74,028	3,456	72,087	3,395	8,819	63,268	46,121	17,147
1992	4	77,416	3,388	75,628	3,541	9,537	66,091	46,780	19,311
1994	6	81,055	3,639	79,091	3,463	10,214	68,877	51,495	17,382
1996	8	85,518	4,463	83,403	4,312	10,723	72,680	53,789	18,891
1998	10	88,061	2,543	85,669	2,266	11,543	74,126	55,056	19,070
2000	12	90,857	2,796	88,410	2,741	11,526	76,884	56,866	20,018
2002	14	92,874	2,017	90,499	2,089	11,674	78,825	57,784	21,041
2004	16	95,197	2,323	92,696	2,197	11,638	81,058	58,545	22,513
2006	18	97,198	2,001	94,593	1,897	12,269	82,324	58,956	23,368

まずは歯科医師総数の推移のデータをグラフで示します。

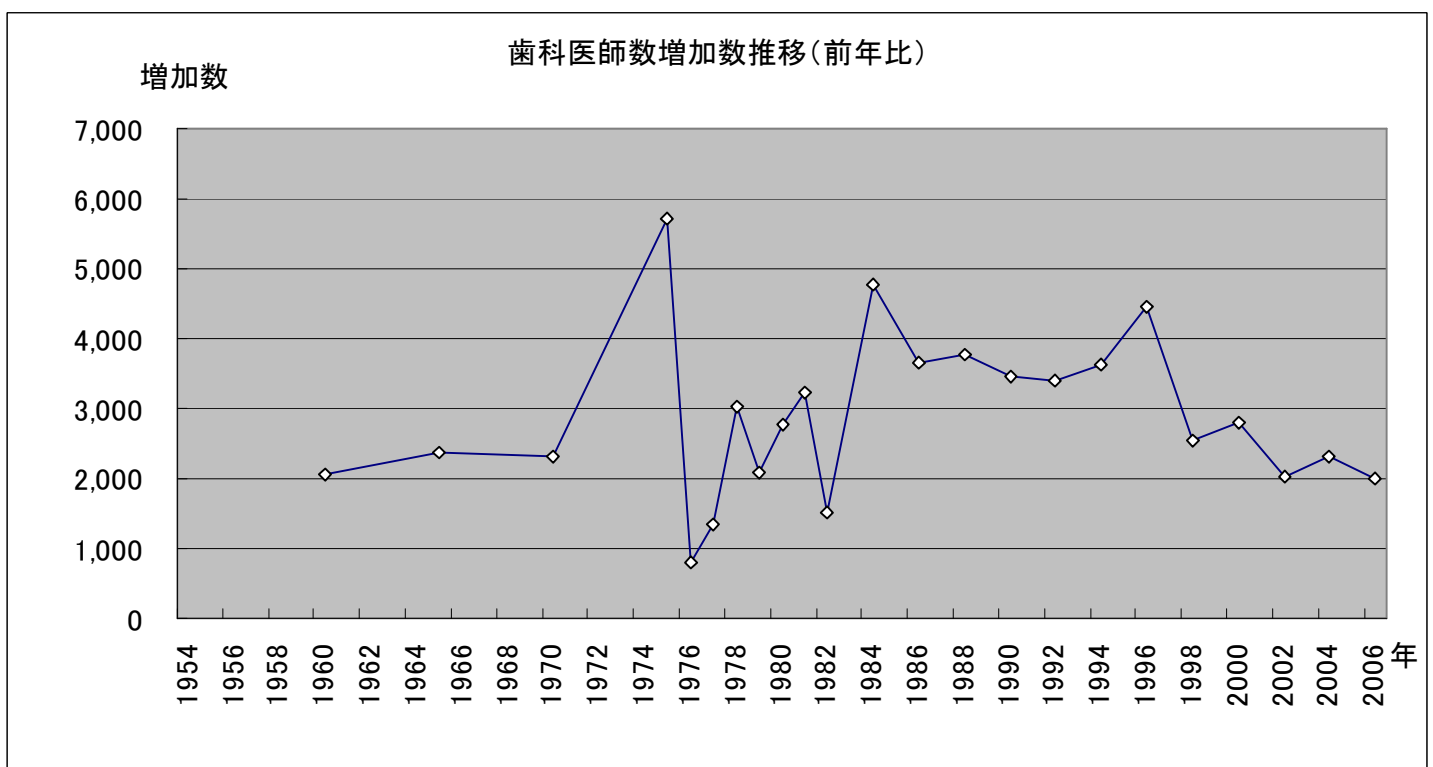


1975年から1986年にかけて、歯科大学（歯学部）が新設、増設が図られたためにより増加傾向が強くなっています。

1985年にはWHOとFDIのワーキンググループから、歯科医療関係者が供給過剰になるとのレポートが発表されました。

日本における歯科医師の需給に関しては、厚生労働省が1986年と1998年に検討会を設けています。1986年の報告にもとづき、歯科大学・歯学部の20%入学定員削減が実施されました。1998年の報告では、入学定員の削減と歯科医師国家試験の見直しにより、さらに10%程度の新規参入歯科医師の抑制を図ると提言されましたが、これは実行されたとは言えず、わずか1.7%の削減にとどまっています。

歯科医師総数の前年比での増加数をグラフで示します。



しばらくは 3000 人台後半から 4000 人台の増加が続いていましたが、1996 年以降は、増加数は減少傾向にあり、ここ 3 年ほどは 2000 人強の増加となっています。

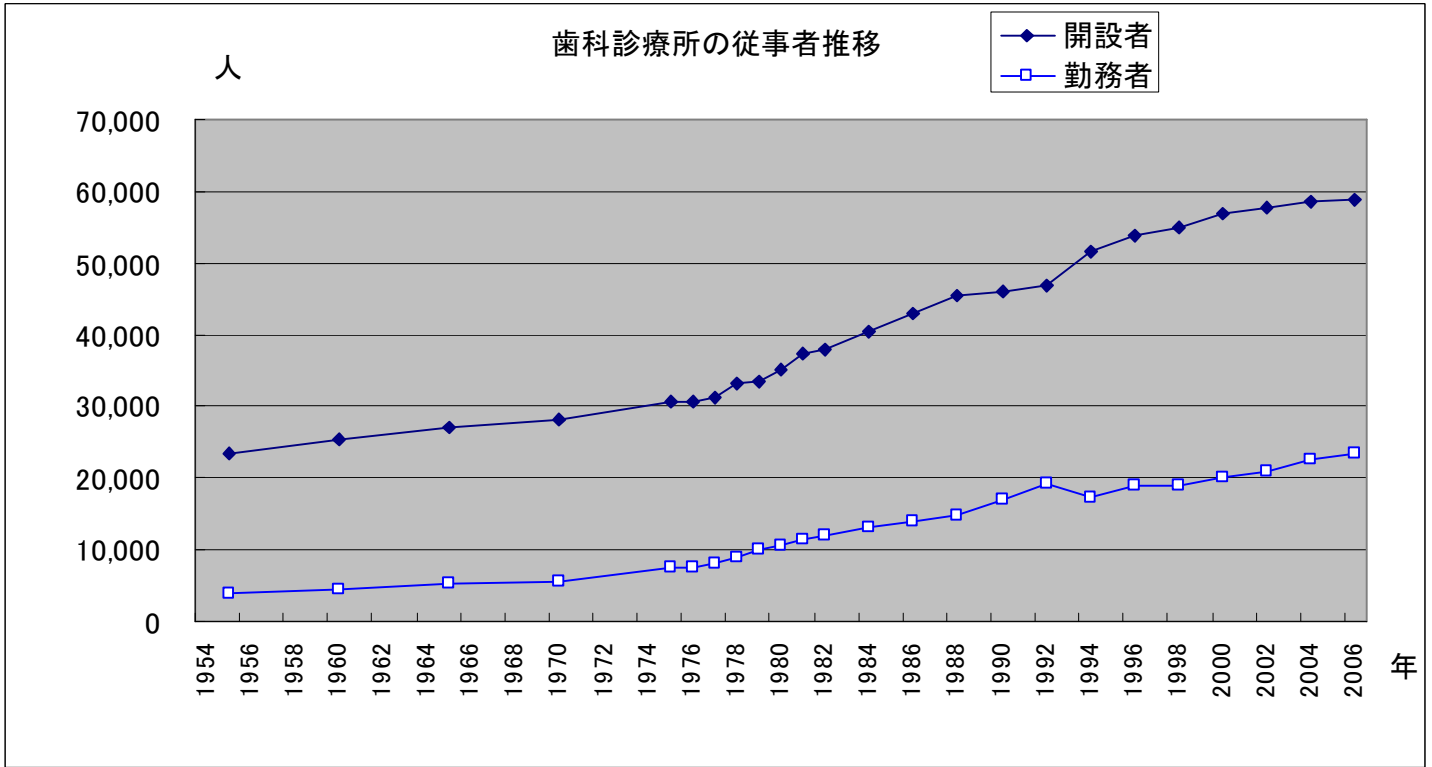
調査は 2 年おきですから、毎年の増加数はこの半分程度になります。

1996 年 85,518 人、2006 年 97,198 と、この 10 年で 11,680 増加したことになります。(年平均 1,168 人)

2000 年の 90,857 人と比較すると、6,341 人の増加、年平均 1,057 人の増加になります。

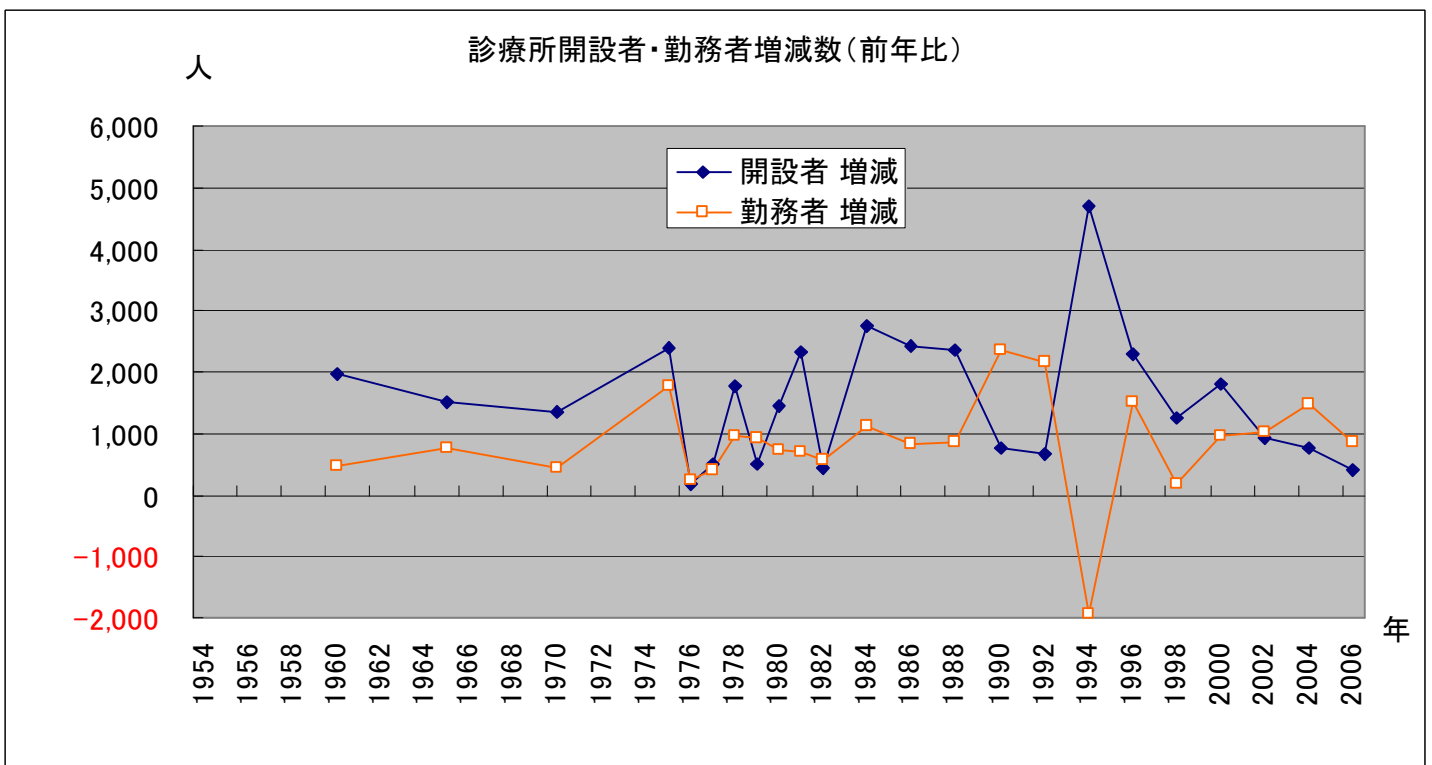
### 【歯科医師総数・診療所開設者と勤務者】

次に歯科診療所従事者を開設者と勤務者別に分けて見ていきたいと思えます。



開設者と勤務者ともに増加を続けていますが、その傾向には幾分違いが見られます。

下のグラフは、歯科診療所の開設者と勤務者の前年と比較しての増減数です。



1994年以降、開設者の増加数は、前年比で低下傾向にあります。2002年からは、開設者数の増加は前年比1000人増を切るようになっていきます。

1990、1992年と2002、2004、2006年においては、勤務者の増加が、開設者の増加を上回っています。これは開業が難しくなってきたことを示すのでしょうか？今後の動向が注目されます。(次に数値を示します。)

再掲	開設者	開設者 増減	勤務者	勤務者 増減
1955	23,415		3,947	
1960	25,398	1,983	4,422	475
1965	26,916	1,518	5,195	773
1970	28,270	1,354	5,623	428
1975	30,644	2,374	7,410	1,787
1976	30,809	165	7,652	242
1977	31,326	517	8,050	398
1978	33,102	1,776	9,024	974
1979	33,590	488	9,966	942
1980	35,038	1,448	10,688	722
1981	37,372	2,334	11,386	698
1982	37,827	455	11,968	582
1984	40,563	2,736	13,092	1,124
1986	42,997	2,434	13,906	814
1988	45,367	2,370	14,778	872
1990	46,121	754	17,147	2,369
1992	46,780	659	19,311	2,164
1994	51,495	4,715	17,382	-1,929
1996	53,789	2,294	18,891	1,509
1998	55,056	1,267	19,070	179
2000	56,866	1,810	20,018	948
2002	57,784	918	21,041	1,023
2004	58,545	761	22,513	1,472
2006	58,956	411	23,368	855

## 【歯科医師数男女構成】

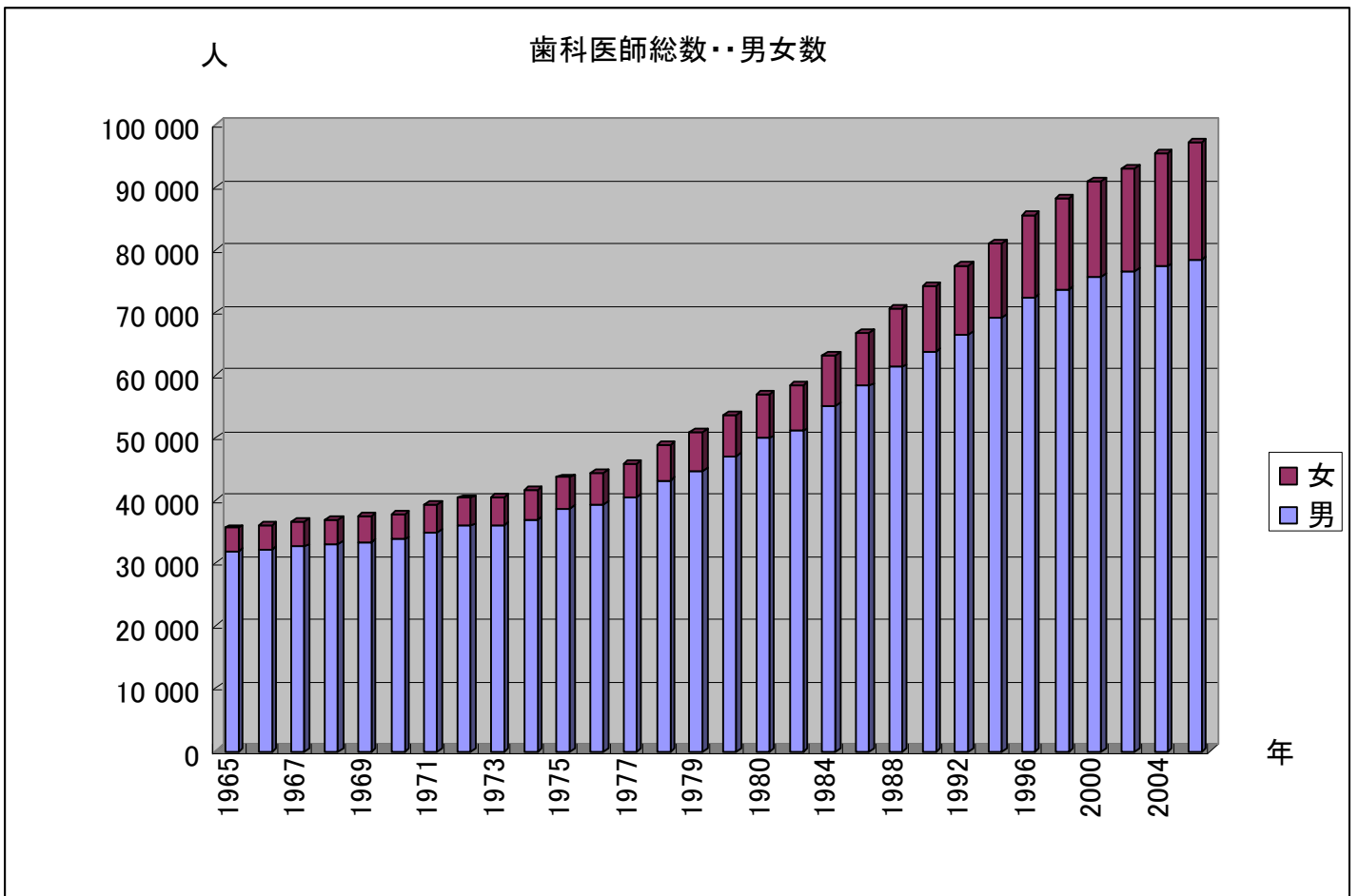
近年、歯科医師の中で女性の占める割合が増えてきています。  
まずはデータを示します。

		歯 科 医 師 数 (人)				男	女
		総数	(再掲) 病院	(再掲) 診療所			
昭和40年	1965	35 558	2 016	32 111	31 710	3 848	
41	1966	36 022	2 113	32 434	32 129	3 893	
42	1967	36 524	2 236	32 879	32 584	3 940	
43	1968	36 943	2 342	33 143	32 915	4 028	
44	1969	37 406	2 449	33 528	33 358	4 048	
45	1970	37 859	2 575	33 893	33 756	4 103	
46	1971	39 218	2 794	34 833	34 901	4 317	
47	1972	40 293	3 043	35 722	35 854	4 439	
48	1973	40 490	3 425	35 568	35 987	4 503	
49	1974	41 680	3 826	36 262	37 000	4 680	
50	1975	43 586	3 897	38 054	38 700	4 886	
51	1976	44 382	4 243	38 461	39 347	5 035	
52	1977	45 715	4 530	39 376	40 457	5 258	
53	1978	48 731	4 776	42 126	43 029	5 702	
54	1979	50 821	5 343	43 556	44 694	6 127	
55	1980	53 602	5 871	45 726	47 012	6 590	
56	1980	56 841	6 196	48 758	49 846	6 995	
57	1982	58 362	6 532	49 795	51 061	7 301	
59	1984	63 145	7 628	53 655	55 049	8 096	
61	1986	66 797	8 001	56 903	58 180	8 617	
63	1988	70 572	8 547	60 145	61 189	9 383	
平成2年	1990	74 028	8 819	63 268	63 822	10 206	
4	1992	77 416	9 537	66 091	66 501	10 915	
6	1994	81 055	10 214	68 877	69 048	12 007	
8	1996	85 518	10 723	72 680	72 252	13 266	
10	1998	88 061	11 543	74 126	73 669	14 392	
12	2000	90 857	11 526	76 884	75 671	15 186	
14	2002	92 874	11 674	78 825	76 549	16 325	
16	2004	95 197	11 638	81 058	77 301	17 896	
18	2006	97 198	12 269	82 324	78 254	18 944	

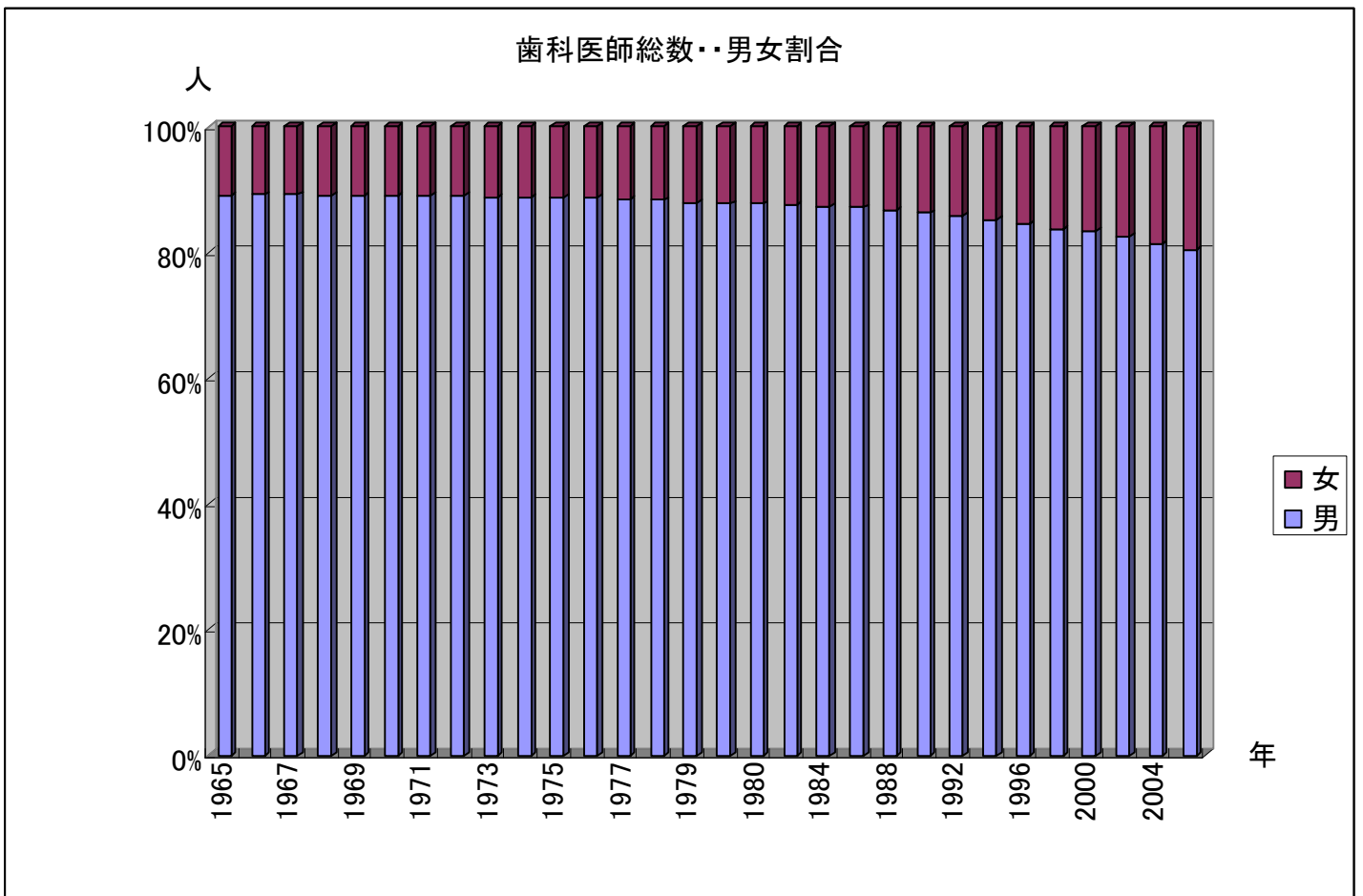
注：1) 病院・診療所にはそれぞれ開設者及び勤務者を含む。

女性の占める割合が年々増えてきています。  
2006年においては、女性は全歯科医師の約20%を占めています。(19.5%)

上のデータをグラフで示します。



グラフを男女の構成比の変化を分かりやすいようにしてみます。

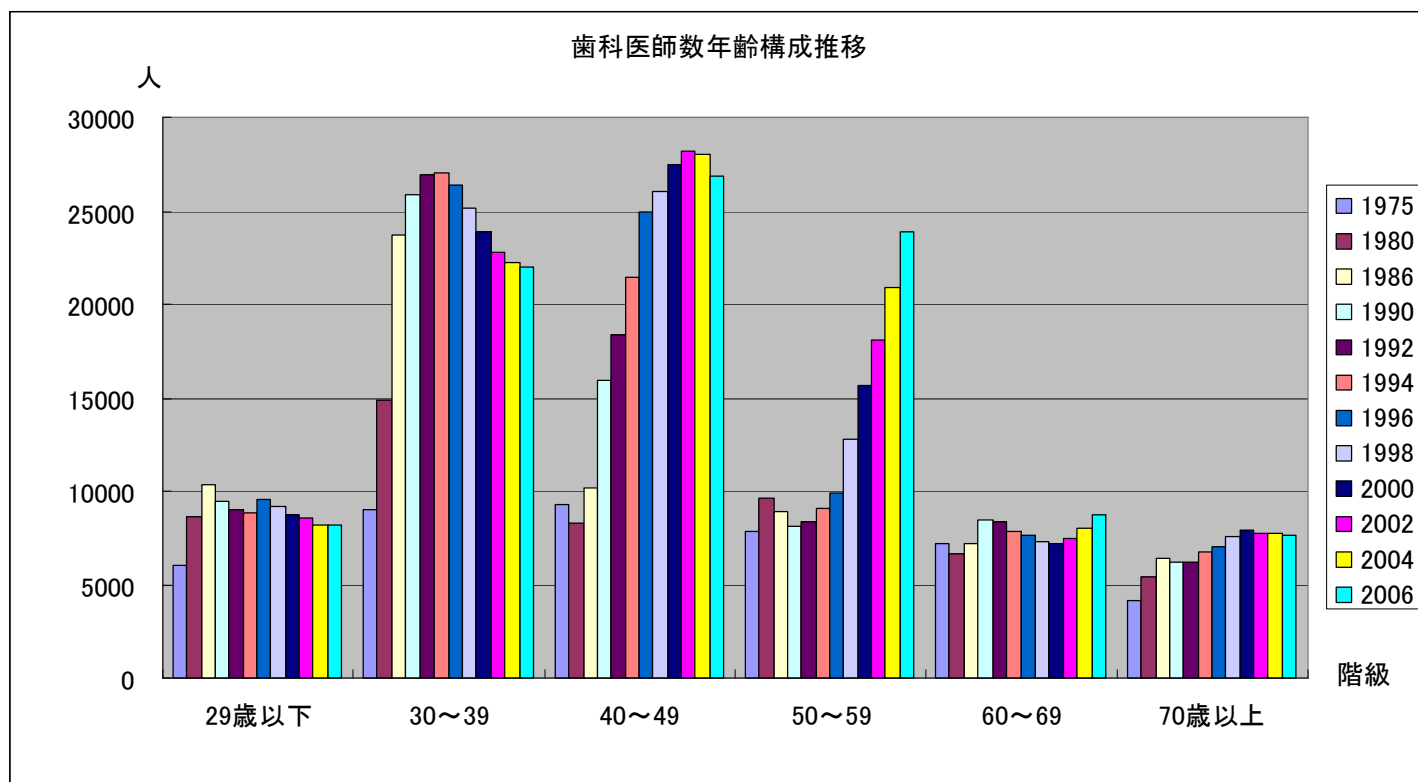


## 【歯科医師年齢構成】

年齢階級別の歯科医師数の変化を見ていきます。

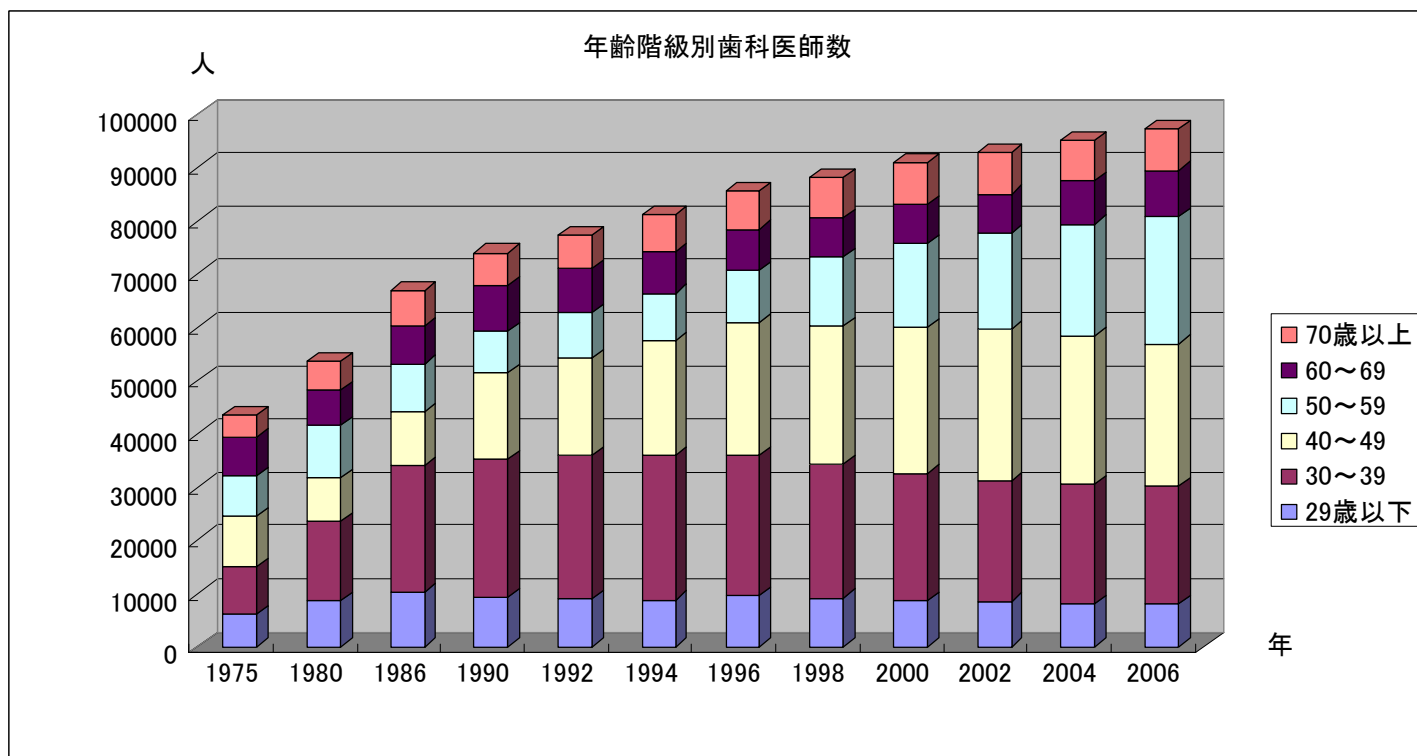
	歯 科 医 師 数 (人)											
	1975	1980	1986	1990	1992	1994	1996	1998	2000	2002	2004	2006
29歳以下	6080	8669	10367	9487	9011	8866	9563	9205	8707	8557	8190	8184
30～39	9028	14883	23714	25852	26915	27036	26389	25168	23896	22757	22281	21962
40～49	9320	8311	10184	15956	18415	21446	24937	26035	27471	28218	28011	26810
50～59	7825	9678	8877	8097	8421	9081	9883	12775	15694	18073	20940	23878
60～69	7163	6676	7248	8459	8395	7875	7701	7337	7166	7499	8063	8705
70歳以上	4151	5385	6407	6177	6259	6751	7045	7541	7922	7770	7712	7659
総数	43586	53602	66797	74028	77416	81055	85518	88061	90857	92874	95197	97198

グラフにしてみます。

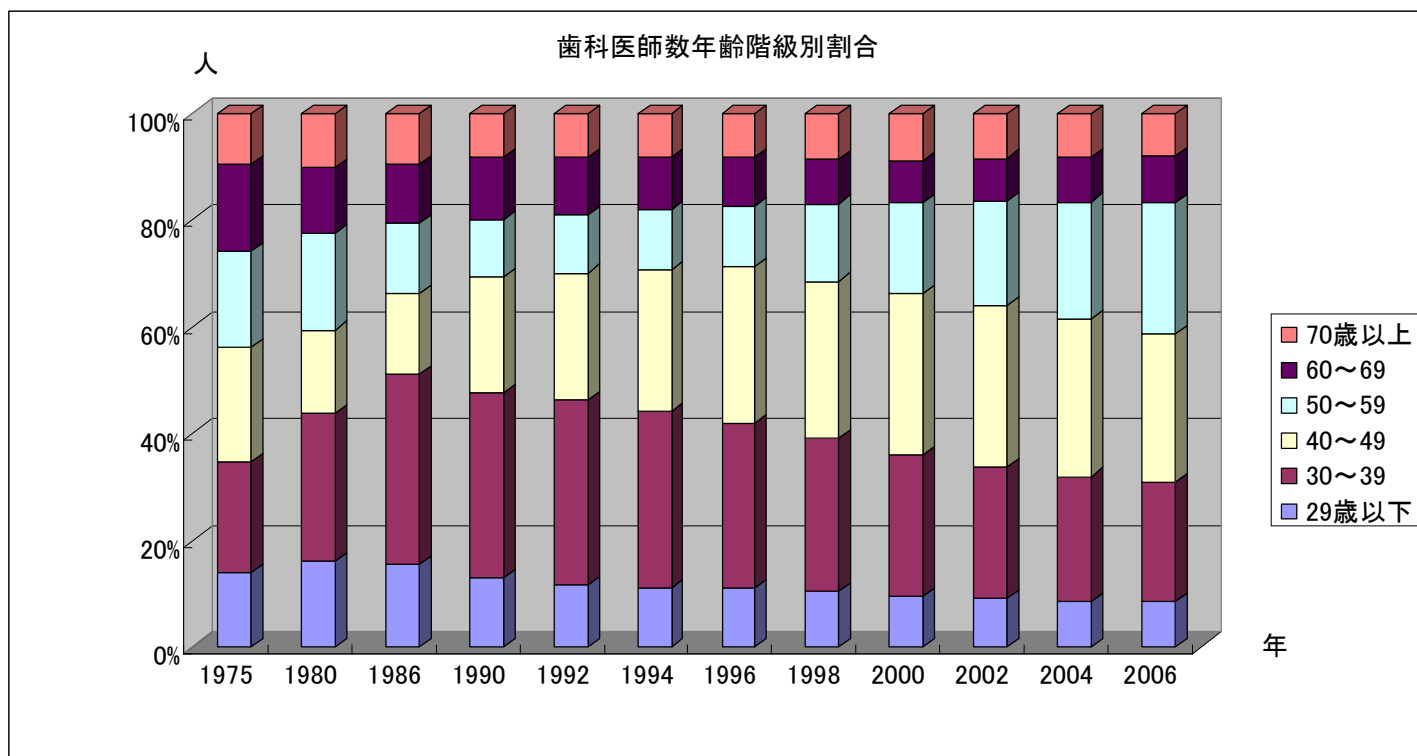


50～59歳の歯科医師が急激に増加し、30～39歳の歯科医師数は減少してきているのが分かります。これは1975年から1986年にかけての歯科大学（歯学部）が新設・増設と、1986年の厚生労働省の検討会の報告にもとづく歯科大学・歯学部の20%入学定員削減が実施されたことが反映されています。

別の形のグラフにしてみます。



上を構成割合が分かりやすいグラフにしてみます。



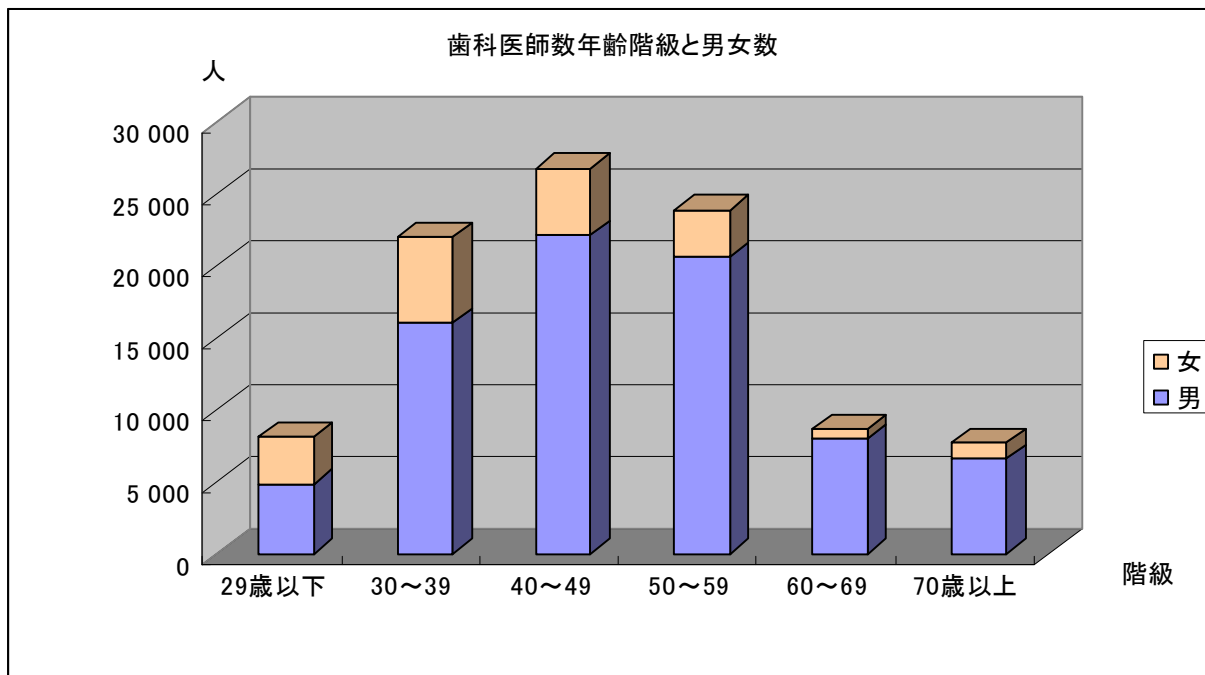


## 【2006年の歯科医師数・男女比率と年齢構成】

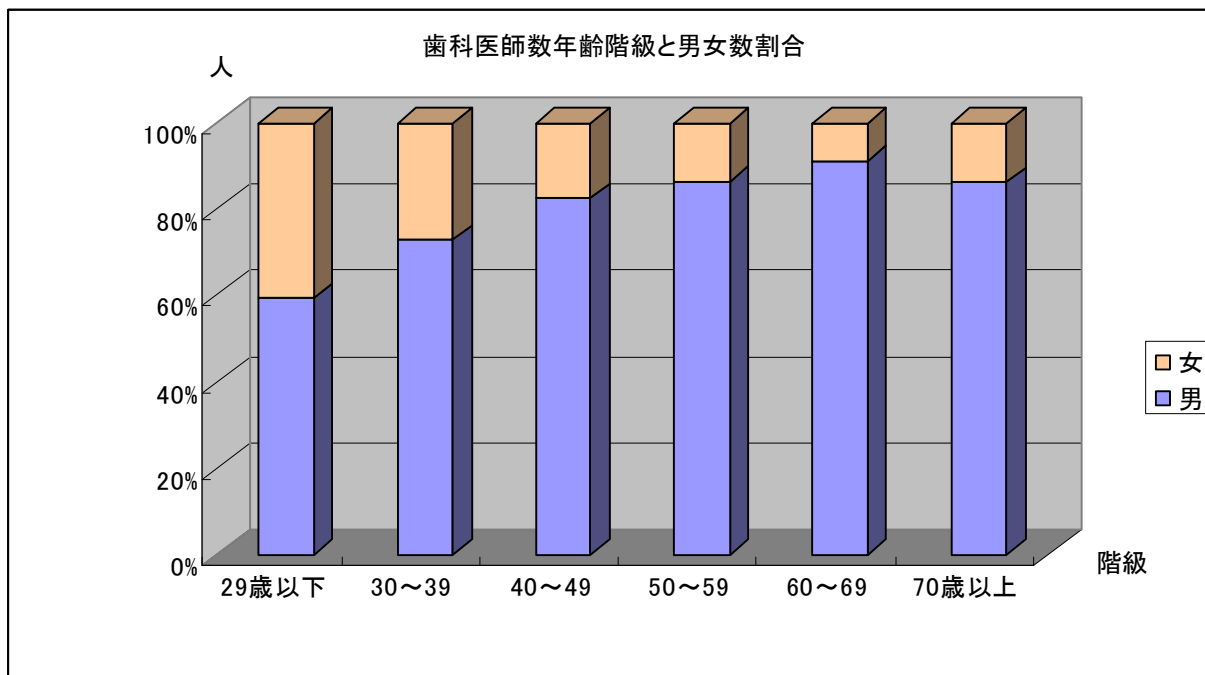
2006年における歯科医師総数の男女比率と年齢構成を見ていきます。

2006年	計	男	女
29歳以下	8 184	4 861	3 323
30～39	21 962	16 011	5 951
40～49	26 810	22 162	4 648
50～59	23 878	20 672	3 206
60～69	8 705	7 936	769
70歳以上	7 659	6 612	1 047

グラフにしてみます。



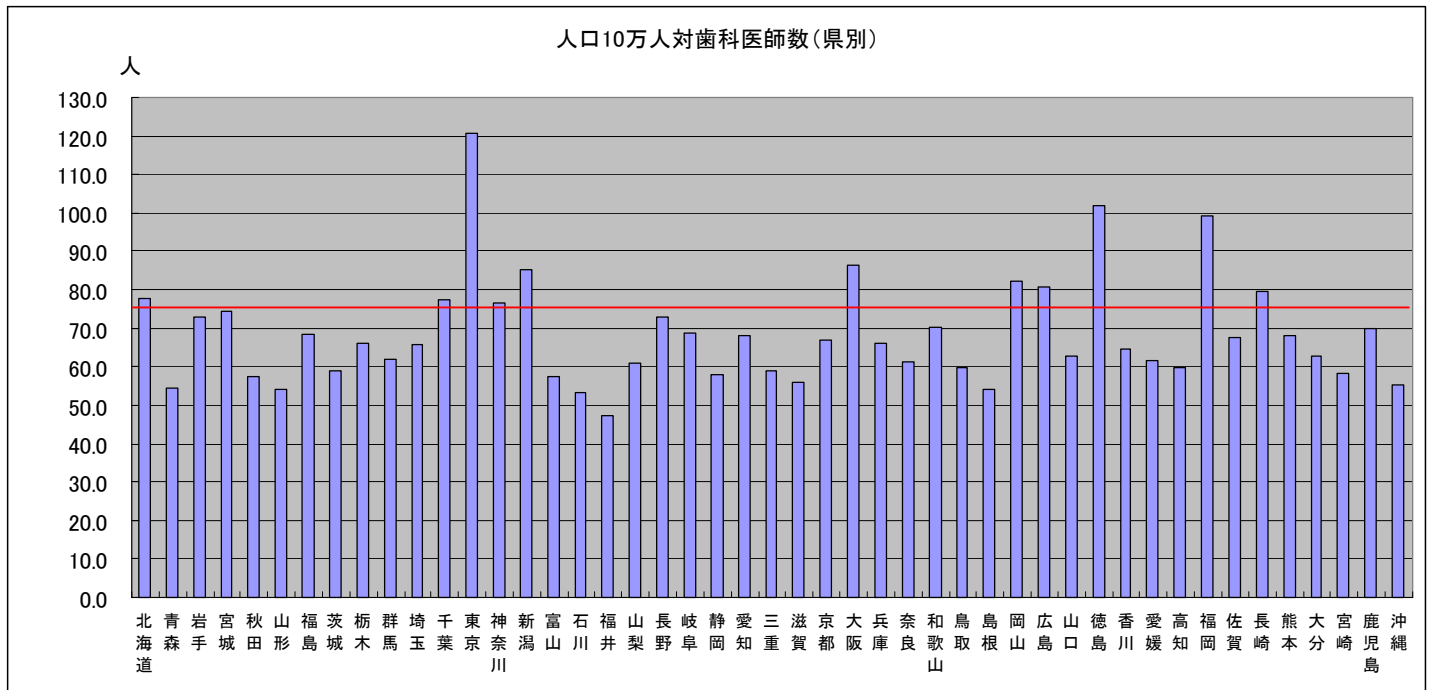
構成割合が分かりやすいグラフにしてみます。



29歳以下では女性は40.7%を占めるまでになっています。

## 【都道府県別人口10万人対歯科医師数】

2006年における全国平均の人口10万人対歯科医師数は、76.1人です。  
 (医療施設に従事する「人口10万人対歯科医師数」では、74.0人となっています。)

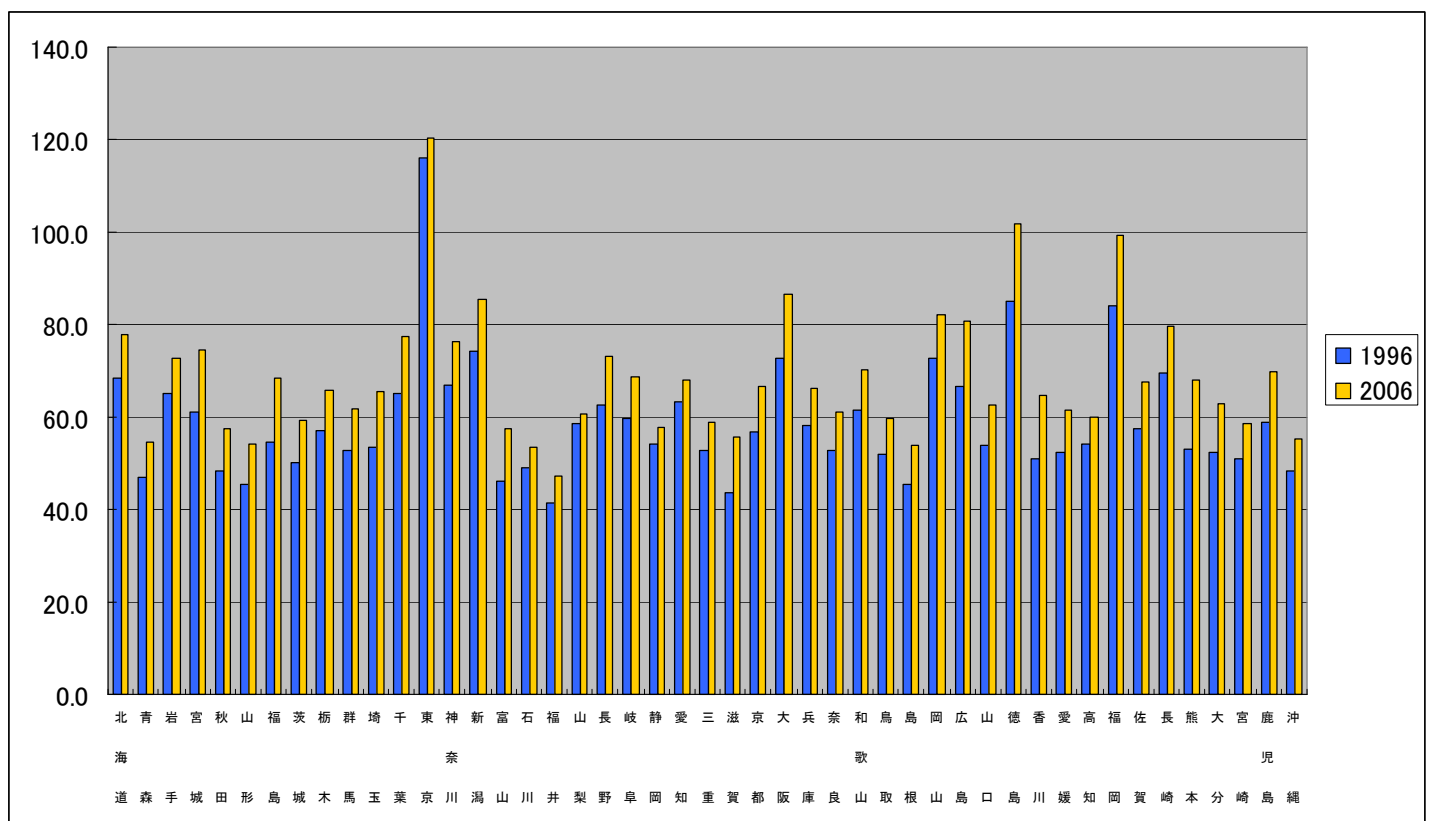


歯科医師数のうち医療施設に従事する歯科医師数で集計

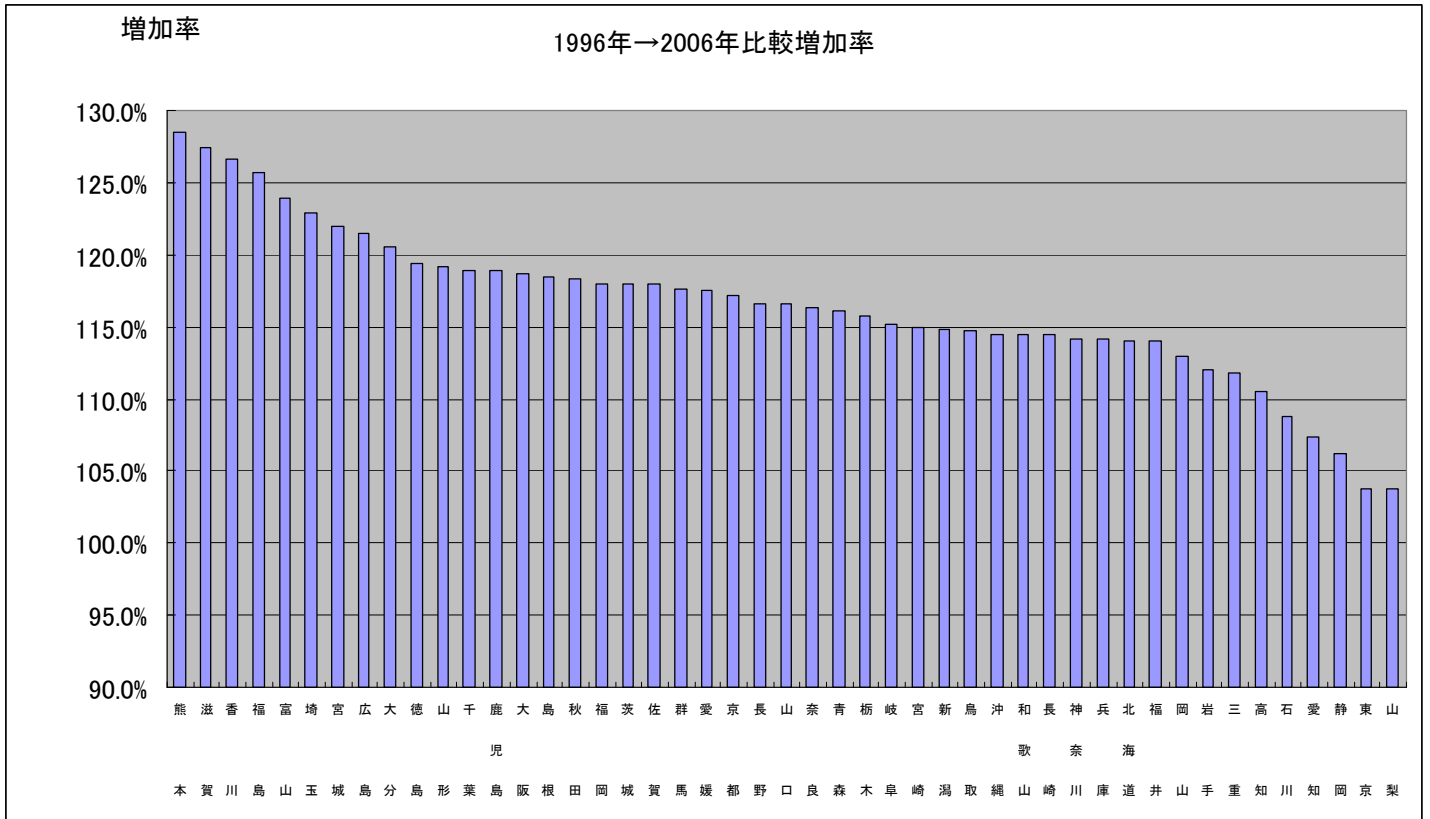
東京都、徳島県、福岡県が突出して高くなっています。

1965年には、人口10万人対50人の歯科医師数の確保が当面の目標とされました。  
 1984年には当初の目標を上回り、供給過剰が懸念されるようになってきました。

10年前のデータと比較してみます。



1996年から2006年までの、各都道府県の「10万人対歯科医師数」の増加率をみます。



歯科医師の増加率は、全国一律ではないようです。

(ただし、歯科医師数の増加だけでなく、人口の増減も考慮に入れる必要があることに留意してください。)

東京都は、10万人対歯科医師数では、全国一の数値ですが、ここ10年の増加率では全国のうち下から2番目の増加率にとどまっています。

これは、東京都はすでに歯科医師数が飽和状態にあることを示しているのでしょうか？

【全国人口10万人対歯科医師数】

西暦	歯科医師数(人)	人口10万人対 歯科医師数(人)
1982	58,362	49.2
1984	63,145	52.5
1986	66,797	54.9
1988	70,572	57.5
1990	74,028	59.9
1992	77,416	62.2
1994	81,055	64.8
1996	85,518	67.9
1998	88,061	69.6
2000	90,857	71.6
2002	92,874	72.9
2004	95,197	74.6
2006	97,198	76.1

「医師・歯科医師・薬剤師調査」、「医療施設調査」、「人口推計」より

厚生労働省の資料

医師・歯科医師・薬剤師調査の概況

[http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/06/dl/chosa-gaiyo-a\\_0001.pdf](http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/06/dl/chosa-gaiyo-a_0001.pdf)  
もご覧ください。

2008/01/12

みんなの歯科ネットワーク  
チュー